



▲大船山山頂からの大パノラマ



Check!

大船山は6月上旬、ミヤマキリシマという高山植物が見ごろになる。「大船山のミヤマキリシマ群落」として、国の天然記念物にも指定されている。

04 大船山山頂

入山公墓から大船山山頂まで、約1時間30分ほど険しい登りが続きます。息をきらしながら山頂にたどりつくと、くじゅう連山が一望できる大パノラマ風景が広がり、山頂直下の御池(おいけ)の周りの紅葉の様子は庭園のようです。また、山頂から見える段原方面の紅葉も見ごたえがあります。大船山山頂には、ツクシドウダンなどのドウダンツツジの仲間やナナカマド・オオカメノキなど、赤系統に紅葉する樹種が多く、山一面が紅葉で彩られます。山頂帯の紅葉の*ピークは、例年10月中旬となっています。 *年によって若干の変動あり



▲大船山山頂直下の御池



▲大船山山頂から段原方面の展望

大船山観光登山バス利用について

- バスは前日の12時までの事前予約制
- 乗車料金 片道1,000円 往復1,800円
- その他、竹田市観光ツーリズム協会に旅行条件(バス利用条件)を確認のこと
- 2018年の運行期間:4月28日～11月18日

*運行時間 1日3往復(1便につき定員18名)

*2018年10月1日現在

行き

帰り

午前7:30

午後2:00

午前8:30

午後3:00

午前9:30

午後4:00

観光登山バス利用の問合せ先
竹田市観光ツーリズム協会 久住支部
TEL:0974-76-1610

04 大船山山頂

険しい登りが続きます。あと一息!



03 入山公墓

ここからは本格的な登山です。

バス終点からの登山道は、目印がついています。



岳麓寺登山口からの合流地点。帰日も登山バスを利用する場合は、間違えて岳麓寺登山口方面に行かないよう注意!



02 池窪 (登山バス終点)



観光登山バス

03 入山公墓



池窪から40分ほど登ると、「入山公墓」の入口につきます。入山公墓は、岡藩第3代藩主であった中川久清公(1615～1681)の墓所で、国指定の史跡です。久清公は1662年以来、たびたび屈強な領民が背負う人轡に乗って大船山に登っており、自分の墓を大船山に設けるように遺言を残したと言われています。現在もその墓所と周辺の遺構が残っており、往時をしのばせています。入山公墓に隣接して、パノラマ眺望案内板も設置されており、岡城方面の展望を楽しむことができます!



大船山観光登山バス～池窪～大船山山頂

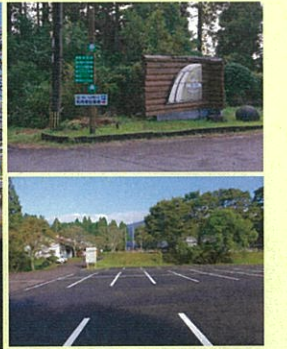
1,180m

1,786m

1,700m級の山々が連なる、くじゅう連山。10月中旬～11月初旬にかけて、くじゅう連山一帯では見事な紅葉が見られます。紅葉の名所として知られている大船山ですが、山頂までは長者原登山口から往復約8時間以上、南側の岳麓寺登山口からも往復7時間以上と、初心者には大変ハードルが高い山でした。

2015年に登場した大船山観光登山バスを利用すると、バスの終点である池窪から大船山山頂まで徒歩2時間で行けるようになり、今まで遠いイメージだった大船山を、ぐっと身近に感じさせてくれます。(但し本格的な登山であることには変わりないため、きちんとした装備は必要です。)今回は、そんな観光登山バスを利用した大船山登山を紹介します!

01 パルクラブ(観光登山バス発着場)



パルクラブ入口には、登山バスの案内板が出ています。中へ入ると登山バス利用者専用駐車場があります。駐車場に隣接して、トイレもあります。登山バスの発着場は、パルクラブ内にある温泉施設「大地乃湯」の前となっており、登山バス利用者専用駐車場から徒歩1分と少し離れたところにあるため、ご注意ください。大地乃湯内に*バス乗車券の券売機があるので、そこで料金を支払います。*バスは前日の12時までに、竹田市観光ツーリズム協会に予約が必要です。

02 観光登山バスで池窪 (登山バス終点) へ



登山バスでパルクラブから池窪まで約20分。*牧野道をぐんぐんとバスで登っていきます。途中車窓から見える草原風景は絶景!天気がよければ車窓から祖母山系をのぞむことができます。バスの降り口である池窪は、標高約1180m。ベンチが置いてあり、帰りのバスを予約した場合は、ここで待つことができます。ここから大船山に向けて、登山開始です! *牧野道は金網のゲートがあるため、一般の車両及び登山(徒歩)での進入はできません。

バス道は一部省略



ゲート



01 パルクラブ

(登山バス発着場)